

通し番号	4591
------	------

分類番号	24-01-11-01
------	-------------

多品目栽培に対応した日誌ソフトウェアの開発
[要約] 開発した「少量多品目栽培日誌ソフト」、「帳票出力ソフト」、「環境支払い出力ソフト」により、多品目栽培でも栽培履歴の管理が容易になり、環境保全型農業直接支援対策の提出書類の自動作成が可能となる。
神奈川県農業技術センター・企画経営部 連絡先 0463-58-0333

[背景・ねらい]

県内では、近年整備された大型直売所に対応した多品目栽培をする露地野菜農家や、年間30～50品目に取り組む有機野菜農家が存在する。多品目栽培では、作付ごとの作業履歴の管理が煩雑であり、環境保全型農業直接支援対策等の提出書類の記入に多大な労力をかけざるを得ない。そこで、一圃場内を細分した多品目栽培に対応し、作業履歴の入力・保存、検索・閲覧が容易で、環境保全型農業直接支援対策の提出書類が自動で作成されるソフトウェアをExcelマクロにより開発する。

[成果の内容・特徴]

- 1 「少量多品目栽培日誌ソフト」は、選択肢の柔軟な設定、ワンクリック選択が可能のため、記録が煩雑な多品目栽培においても日々の農作業記録が容易で、栽培履歴が容易に管理できる（図1）。
- 2 「帳票出力ソフト」は、「少量多品目栽培日誌ソフト」により入力・保存されたデータを読み込み、「日報」や「圃場・作目別履歴」といった帳票を、自由に期間や表示項目を指定して出力することができる（図2、3）。
- 3 環境支払い出力ソフトは、「少量多品目栽培日誌ソフト」により入力・保存されたデータを読み込み、環境保全型農業直接支援対策の提出書類である参考様式8号を圃場・作目別に作成し、作業工程、使用肥料、使用農薬における時期や使用量について、自動的に転記することができる。

[成果の活用面・留意点]

以下のURLにおいて、開発したソフトをマニュアルも含め、Web公開している。

「少量多品目栽培日誌ソフトウェア」 ダウンロード

<http://www.agri-kanagawa.jp/nosoken/nissi/index.htm>

[具体的データ]

ワンクリックで選択、保存ボタンを押すだけのカンタン操作

図 1 「少量多品目栽培日誌ソフト」の入力画面

図 2 帳票出力ソフトのワンクリックで選択可能な項目設定画面

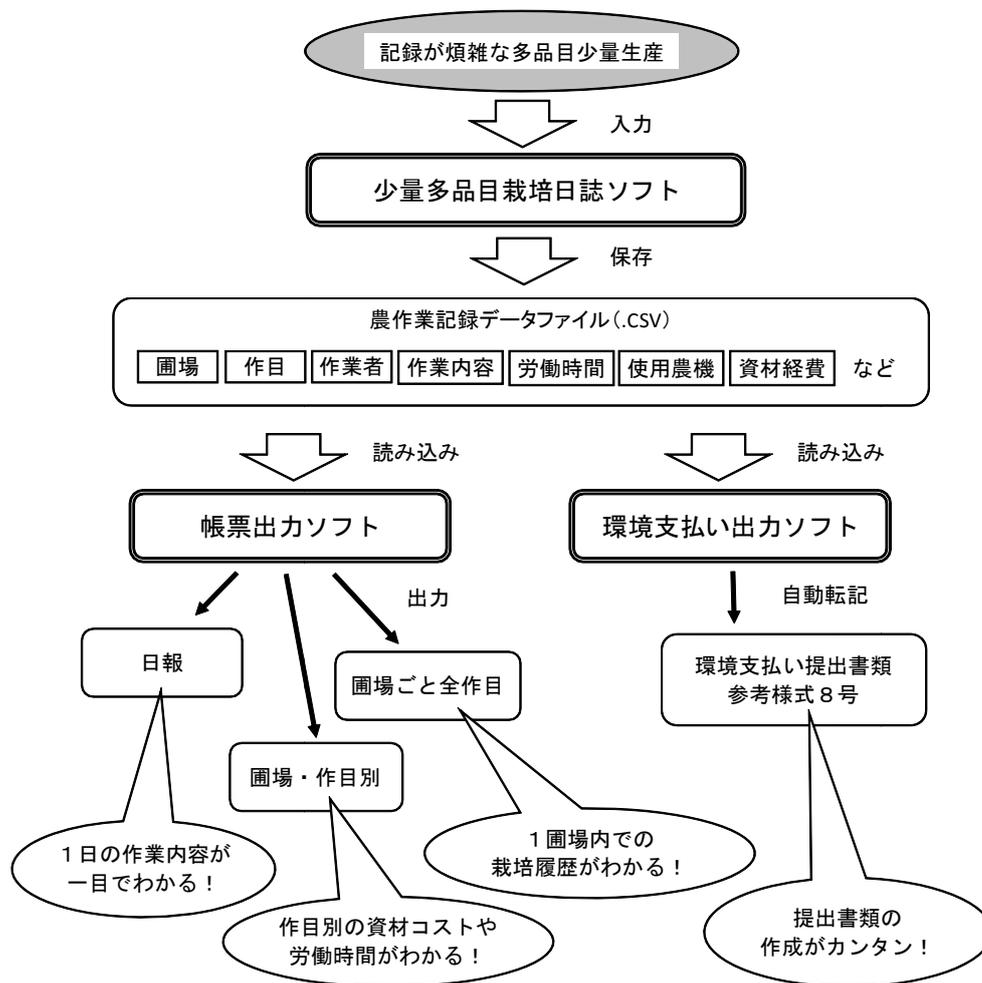


図 3 ソフトの役割とデータの流れ

- [資料名] 平成24年度試験研究成績書(経営情報)
- [研究課題名] 少量多品目栽培日誌ソフトウェアの開発
- [研究期間] 平成24年度
- [研究者担当名] 佐藤忠恭、稲毛正彦